



平成28年山地災害防止キャンペーン!

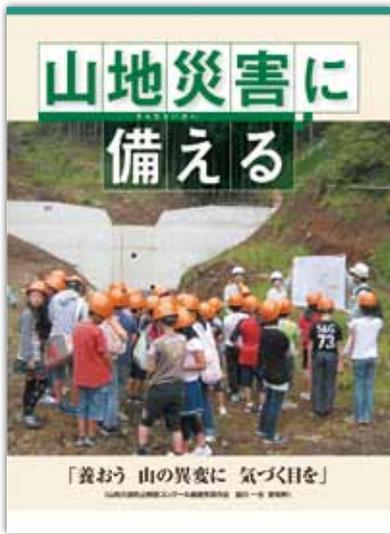
～養おう 山の異変に 気づく目を～



平成27年9月 関東・東北豪雨により人家等が被害(栃木県 宇都宮市)



平成27年8月 台風第15号により JR・市道が被災(熊本県八代市)



広報活動に使われるパンフレット

我が国では、毎年約2,200ヵ所(平成22年～26年の5ヵ年の平均)もの山地災害が発生し、人命や財産に大きな被害をもたらしています。

林野庁では毎年、山地災害の起こりやすい梅雨の時期に、国民の皆さまに山地災害防止に対する理解と関心を深めていただくことを目的とした「山地災害防止キャンペーン」を実施し、さまざまな活動を進めています。



山地災害の多い日本

日本の国土は、険しい山が続く複雑な地形をしており、川幅は狭く、急流が多いという特徴があります。また、大陸プレートと海洋プレートの境界に位置しており、地震や火山活動も活発であるため、山崩れや土石流、地すべりなど、山地災害の危険を常に抱えています。

さらに、日本の年間降雨量は約1,700ミリで、これは世界平均の約2倍とわめて雨が多く、特に梅雨期や台風の際は局地的な集中豪雨が起り、各地に大きな災害をもたらしています。また、雪どけ期には、河川の増水やなだれの危険も高くなります。加えて近年は、地球温暖化による影響等により局地的な集中豪雨が増加しています。

このような条件にある我が国では、山崩れや土石流、地すべりなどの山地災害が、ある日突然やってきます。自らの生命と財産を守るため、日頃から防災への理解と関心を深めるとともに、災害に対する備えをしておくことが重要です。

そこで林野庁では、5月20日(金)～6月30日(木)に「山地災害



ヘリコプターによる被害状況調査



職員を派遣し災害箇所を調査



主な活動内容

「備える」を合い言葉とした「山地災害防止キャンペーン」を実施し、各都道府県・市町村と連携して、山地災害の未然防止や少しでも被害を軽減させるためにさまざまな活動に取り組みます。

まず、「山地災害防止キャンペーン」では、地域の皆さんにキャンペーンの存在や目的を理解していただきやすいよう、わかりやすい標語を定めています。

今年度の標語は「養おう 山の異変に 気づく目を」です。各都道府県と市町村では、山



山地災害の危険信号を見逃すな!

8つの危険信号に注意して下さい。

山地災害が起こる多くの場合、山の斜面や川の流れをよく観察してみると、事前に危険信号と思われる変化がキャッチできます。

特に次の8つの危険信号に注意して下さい。

① 川がにごった

川がにごり、木の枝などが露びりはじめた



もしかして、上流で山くずれが発生?

② 水位が下がった

雫が降り続けているのに川の水位が下がった



もしかして、山くずれが川の水をせき止め、はん盆の危険が...

③ 亀裂が走った

山の木が傾いたり斜面に亀裂が走った



もしかして、地すべりや山くずれの前ぶれ?

④ 石が落ちてきた

山の斜面から石が転がり落ちてきた



もしかして、山くずれの前ぶれ?

⑤ わき水が止まった

今まで出たことのないわき水が止まった



もしかして、地下水の流れが変わり、地すべりの前ぶれ?

⑥ わき水が増えた

わき水の量が急に増えた



もしかして、地下水の流れが変わり、地すべりの前ぶれ?

⑦ 井戸水がにごった

普段澄んでいる沢や井戸の水がにごってきた



もしかして、上流の穴の山くずれが原因?

⑧ 地鳴りがする

地鳴りの音が聞こえてきた



もしかして、山くずれ発生サイン?

危険信号をキャッチしたら

山くずれなどのおそれがある箇所では、下りてきたら災害発生時に注意して下さい。

すぐ避難!

危険を感じたり、投擲等から遠退があったら早めに指定された場所へ避難しましょう!



すぐ通報!

災害が起こったら、すぐに110番か119番に通報しましょう!



あぶない!

災害の危険がある場所には近づかないようにして下さい!



ふだんから

家族や地域ぐるみで山くずれのおそれがある場所や避難場所について話し合うとともに、実際に自分の目で確認しておきましょう。

地災害の未然防止等を目的とした広報活動として、住民の方々の目にとまりやすい公共施設等における啓発ポスターの掲示、地域の危険地区の周知や、小学校等での防災教室の開催、注意を促すパンフレットの配布等を行います。また、治山事業の重要性を知っていただくために、事業施行地の見学等を開催して、防災への意識の普及・向上を図ります。

さらに、保安林^{*}の機能を損なう無断転用等を防止するため、保安林制度の周知や保安林の巡視などにより、適切な管理を行います。

まずは山地災害危険地区等を 知ることが大事

山地災害による被害発生を防止するためには、地区住民の皆さんが日頃から身近にある山崩れや土石流、地すべりなどの起きやすい危険な場所や、台風や大雨の際の避難場所を知っておくことが重要です。

各都道府県等では、山地災害発生のおそれがある場所を「山地災害危険地区」として把握するとともに、日頃から治山施設の点検等の山地防災パトロールを実施しており、この情報を避難場所などの防災情報とともにホームページや防災マップに掲載して、地域の皆さんの防災活動や避難に役立てられるようにしています。



山地防災ヘルパーによる治山施設の点検
(栃木県宇都宮市高松町)



小学校での山地防災教室
(熊本県球磨郡山江村)

ただけるよう活動に取り組みとともに、災害発生時の警戒避難体制の整備に努めます。

^{*}保安林とは、水源のかん養、土砂の崩壊その他災害の防備、生活環境の保全・形成等、特定の公共目的を達成するため、農林水産大臣または都道府県知事によって指定される森林です。保安林では、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質変更等が規制されます。